

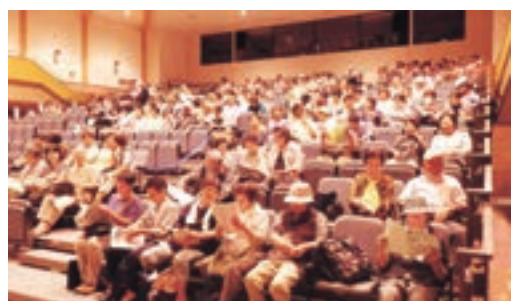
みさと 福祉だより

第41号

平成25年
10月15日

編集発行

社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会
☎0187-85-2294 ☎0187-85-2291
印刷・株式会社アイ・クリエイト



『安心・安全な地域 美郷をめざして』を大会テーマに掲げ、
8月22日(木) 美郷町公民館を会場に第10回美郷町社会福祉
大会を開催しました。

式典・講演・アトラクションの3部構成で行われ、町内
小学校児童のマジックショーでは、笑いが飛び交い、大いに
大会を盛り上げてくれました。

※この広報は、赤い羽根共同募金の配分金と社協会費が使われています。

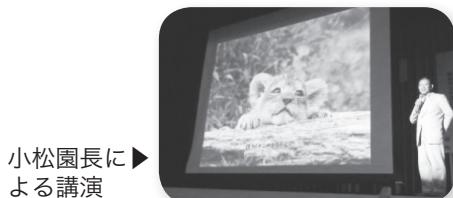
美郷町社会福祉大会に300名参加

8月22日、美郷町公民館で「安心・安全な地域 美郷をめざして」をテーマに、第10回美郷町社会福祉大会を開催しました。この大会は、地域住民、行政、民生児童委員、社会福祉団体等との公民協働による共に支えあう地域社会づくりを目指し、誰もが安全に安心して、心豊かにいきいきと暮らしていくことを目的に開催されたものです。

式典では、長年にわたり社会福祉活動に貢献された9個人2団体に表彰状、12個人に感謝状の贈呈を行い、



▲多数の参加ありがとうございました



小松園長による講演▶

式典後は、「動物を通して考える心の絆 家族の絆」と題して、秋田市立大森山動物園園長 小松 守氏から動物と人間におけるそれぞれの絆について講演をいただきました。

アトラクションでは、町内小学生児童によるマジックショーや町内ボランティアによる歌と踊りで大会を盛り上げていただきました。

地域サロンボランティア福寿草代表 湊 貞子さん朗読による大会宣言案が参加者から採択され、万歳三唱で閉会しました。



▲この日のために猛練習しました

第10回美郷町社会福祉大会

※敬称略

◆ 美郷町社会福祉協議会会長表彰状

受賞区分	地 区	氏 名
永年勤続評議員	千 畑	高橋 町子
	千 畑	福島 要子
永年福祉委員	六 郷	小松 隆誠
永年勤続職員		高橋 真由美
		栗澤 博子
善行・奉仕活動	六 郷	眞崎 リツ
	仙 南	高橋 長市
	六 郷	わくわくおはなし 「夢ふうせん」
	仙 南	図書館ボランティア 「紙ひこうき」
福祉団体（個人）	美郷町身体障害者協会	森元 利男
	美郷町更生保護女性の会	伊藤 ナル子

◆ 美郷町社会福祉協議会会長感謝状

受賞区分	地 区	氏 名
退任理事	六 郷	山下 昭夫
退任評議員	千 畑	熊谷 昭造
退任福祉委員	千 畑	嶋田 賢策
	六 郷	中野 正万
退任民生児童委員	千 畑	嶋田 敬勇
	六 郷	富永 義樹
高額寄付者	六 郷	田丸 和雄
	六 郷	後藤 貴子
	六 郷	高橋 孝蔵
	六 郷	二藤 寛
	六 郷	寺山 幸男
	千 畑	高橋 泰

まめだ屋夏祭り大盛況!!

8月22日(木)まめだ屋にて毎年恒例『まめだ屋夏祭り』を開催しました。当日は、お天気も良く、たくさんの子どもたちが遊びに来てくれました。この日は美郷町社会福祉大会も行われ、大会終了後に立ち寄ってくださる方も多い、大いに盛り上がりしました。これからもみんなが楽しめる催しを行っていきたいと考えています。



(まめだ屋夏祭りは、共同募金配分金が活用されています)

ふれあい安心電話保守点検実施

8月21日(水)～9月13日(金)までの間、町内の65歳以上の単身・高齢者世帯宅等に設置している「ふれあい安心電話」136台の保守点検をおこないました。

ふれあい安心電話とは？

この電話は、緊急ボタンや相談ボタンを押すだけで美郷町社協（夜間・休日は秋田県社協）へ通報が入り、すぐに通話ができるようになっています。また、ガス警報器や火災警報器とも連動し、緊急事態には自動で通報が入るようになっています。

対象者は町内の65歳以上の単身老人世帯や高齢者夫婦世帯等、見守りが必要とされる世帯で、機器代や取り付け費用はかかりません。

取り付けの希望やお問合せなど、詳しくは美郷町社会福祉協議会（85-2294）までお気軽にご相談ください。



これで安心、
また来年伺います

シルバー人材センターシニアワークプログラム開催

8月28日(水)～30日(金)・9月2日(月)～5日(木)にかけて、(公社)秋田県シルバー人材センター連合会主催の「シニアワークプログラム緑地保全管理講習B」が、みさと福祉センターを会場に開催されました。

樹木の剪定、薬剤、草刈り、冬廻い等の造園の基本知識と実習や刈払機の操作等の技能を習得し、造園関連事業所等への就職・就業を目指します。

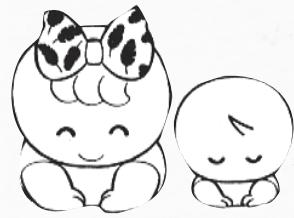
※全日程修了者には「刈払機作業従事者安全衛生教育修了証」(林業・木材製造業労働災害防止協会)が交付されます。



▲つつじの剪定中

美郷町共同募金会

赤い羽根共同募金運動展開中！



今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動がスタートしました。美郷町では町民の皆さまからの温かいご支援とご協力により、毎年目標を上回る実績を積み重ねていることに厚くお礼申し上げます。

赤い羽根共同募金は『じぶんの町を良くするしくみ』として、地元の福祉向上のため活用されます。今年度もご協力のほど伏してお願ひ申し上げます。

共同募金のはじまり

1947（昭和22）年、第1回共同募金運動が全国的に展開されました。第1回の配分は、児童保護や育児事業などに重点がおかれ、民間の社会福祉施設や同胞援護会などの福祉団体や、生活に困っている人たちの支援に生かされました。



11月25日から1ヶ月間展開された第1回共同募金運動



第1回の共同募金の配分は、住まいを焼かれたり、親をなくした孤児たちのためのさまざまな活動の支援に力点が置かれました

共同募金の仕組み

募金の7～8割は、じぶんの町を良くするために使われています。

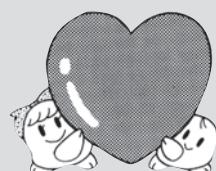
町のみんなで集めた募金は、じぶんの町を良くする活動に使われています。残りは災害支援等県域の活動に使われています。

助成額を決めてから募金(寄付)を集めの仕組みです。

共同募金は地域ごとの使い道や集める額を事前に定めて、募金を募る仕組みです。

これを「計画募金」と呼び、「助成計画」を明確にすることにより、1世帯当たりの目安額を定めて募金を集めることができます。

毎年町民の皆さんにお願いしている戸別募金では、世帯あたり千円以上という目安額を示しております。これは、町全体の募金目標額 6,866,000 円を達成するための目安額です。強制的な割当ではないことを十分にご理解いただきたいと思います。



赤い羽根共同募金

今年の募金目標額は 6,866,000円です



皆さまからの募金は、社会福祉協議会の事業計画に基づいて、町民福祉向上のために、下記事業に活用されます。

～平成26年度事業への募金の使い道～

【児童・青少年福祉活動】

- 学校への福祉教育助成金に …700,000円

【社会参加・ボランティア活動育成】

- 災害ボランティア等事業に …370,000円
- ボランティアセンター運営に…237,000円
- 単身老人の日帰り旅行に…… 315,000円
- 福祉団体の助成に…………… 410,000円

【生活支援事業】

- 寝たきり者の出張理容補助に 222,000円
- 認知症見守りネットワークに 116,000円
- 高齢者世帯の防火点検に………10,000円
- 移送サービスに…………… 400,000円

【総合的な福祉活動】

- まめだ屋活用事業に…………… 521,000円
- おたすけマン事業に…………… 40,000円
- 総合相談事業に…………… 334,000円
- 社会福祉大会の開催に……… 691,000円
- 地域福祉座談会開催に……… 178,000円
- トータルケア推進事業に……… 306,000円
- 福祉だよりの発行に…………… 380,000円
- ふれあいサロン経費に…………… 25,000円

【秋田県共同募金会助成事業】

- 秋田県全体の地域福祉を推進するための活動に…………… 1,611,000円

歳末チャリティーバザー開催のお知らせ及びバザー品供出のお願い

今年の歳末チャリティーバザーは12月1日（日）、美郷町保健センター（六郷）で開催する予定です。年々バザーの供出品が少なくなってきており、売上金も減少傾向にあります。ご家庭で眠っている品で商品価値のある劣化していないものがありましたら、是非ご寄贈をお願いします。

これは、歳末たすけあい運動の一環として毎年12月に開催しているもので、バザー売上金は支援を必要としている世帯の方々があたかい正月を迎えることができるよう義援金として配分されます。

供出品の取りまとめや開催内容等、詳細につきましては後日チラシを通じてお知らせします。



チャリティーバザー当日は、
どん菓子やりんご・おやきも
販売するよ!!



▲昨年の様子



▲敬老感謝一斉奉仕の日作業

秋田県老連
のバレー
ール大會
をみること
ん。先日、
やみませ
ていてる方々
に感謝して
ます。

女性副委員長 湊 貞子
美郷町老人クラブ連合会 仙南支部
ができ、参加者の中
で最高齢は91歳とお
聞きし、はつらつと
競技する姿にいつま
でもお元気で頑張っ
て、と大きな声で健
闘をたたえずにはい
られませんでした。

読書、スポーツと皆様思
い思いに楽しみ仕事に励
んでいることと思います。
老人クラブが出来て50年、
今の高齢者の方々は、と
ても若くいきいきしてお
ります。まず農作業は大
黒柱のごとくしつかりこ
なし、残った時間で仲間との交流、
グランドゴルフ、バーレーボール、
サークル活動、または、友愛訪問
といろいろな事で活動され、若者
のごとくがんばっております。一
日奉仕の掃除、一円募金とささや
かな気持ちも継続して、地元の皆
様に少しでも役に立つ事を励みに
してきました。地区によつては、
朝夕花だんの草取り、水かけと、
苦労している所もあり、綺麗な花
に手をかけている方々
に感謝して
ます。

で豊かな生活を送ることができ
るのは、老人クラブの皆様が今日ま
で家族を守り、地域を支え、広く
社会にご尽力されてこられたから
であり深く敬意を表すとともに頭
が下がる思いです。

こんなステキな親鳥ヤングオーラ
ンド（高齢若者）たちを超えられ
るよう努力し、仲間の絆も太く難
儀している方には手を差し伸べ、
今まで培つた知恵を出しあって、
今まで続き、ひよこが乗り越えら
れるよう先輩のアドバイスで仲間
たちと頑張つていきたいと思いま
す。



▲一日奉仕の掃除の様子

老人クラブ活動に思う



介護者同士の親睦とリフレッシュを図ることを目的に、次のとおり交流会を開催します。



介護者交流会開催のお知らせ

とき	平成25年11月10日（日）
ところ	大潟村「ホテル サンルーラル大潟」
日 程	9：00 みさと福祉センター発 9：20 美郷町保健センター発 9：30 美郷町公民館発 11：00 大潟村「ホテル サンルーラル大潟」着 ~意見交換・昼食・交流会~ 14：30 大潟村「ホテル サンルーラル大潟」発

- ★対象者 在宅で要介護者（要介護4・5）の方を介護している家族介護者
- ★参加費 無料（入浴される方はタオルをご持参ください）
- ★申込期日 平成25年11月1日（金）まで
- ★申込方法 美郷町社会福祉協議会（地域福祉班）へお申し込みください。

**グループホーム
やすらぎの家**

認知症なんでも相談所

介護付有料老人ホーム

そよかぜ

TEL.0187-84-1750

美郷町畠屋字狐塚213-1

(有)若竹 TEL.0187-84-2887

AED (自動体外式除細動器)

みさと福祉だよりへ 広告を掲載してみませんか？

発行回数：年6回（偶数月）毎号6,800部
掲載料金：1コマ(50mm×85mm)7,000円
※詳細は美郷町社会福祉協議会 広報担当まで
お問い合わせください。
TEL 0187(85)2294



六郷高校福祉科通信

秋晴れのさわやかな日が続きます。

学校は十月一日から後期の授業が始まりました。三年生は就職試験、入学試験のため緊張の毎日です。この十月は学校行事が多く、「笛竹祭」「体験入学」「遠足」「修学旅行」「進路ガイダンス」「救命救急講習会」「六郷保育園児との交流会」など盛り沢山です。

実習を終えて、この一年間で大きく成長することができました。これは、自分の力だけではなく施設の方々のご指導があったからです。今後は、実習が始まつた頃の緊張感を忘れず、介護の仕事に携わっていきたいと強く感じています。技術力を高めると共に、最終目標の介護福祉士国家試験の合格を目指してさらに勉強に力を入れていきたいと思います。
(竹内康臣)

三年生施設実習終了

二年生夏休みの集中実習から始まつた施設実習が九月十九日をもつて終わりました。十一ヵ所の施設で実習をさせていただきました。今後は介護福祉士国家試験に向けて一生懸命に頑張るのみです。

私は、利用者さんと上手にコミュニケーションが取れずに難儀しました。介護過程で個別援助計画の実施まで、職員の方の指導のおかげで行うことができました。実施当日は、利用者さんの楽しそうな笑顔で一緒に実施できましたので、とてもうれしく思いました。卒業後は、施設実習で学んだコミュニケーションの大切さを忘れずに頑張っていきたいと思います。
(小玉 凌)

最近の学校の様子

◆ 夏休み最後の日曜日、大曲養護学校の「子ども尊みこしコンテスト」に福祉科二年男子生徒



《施設実習を終えて》

二年生の時、施設実習では、技術・コミュニケーション能力だけを学ぶものだと思っていました。しかし、どれだけコミュニケーションをうまく取れても、利用者さん一人一人を理解できていなければ介助できないことが分かりました。実習は、介護技術だけではなく社会人としての勉強もさせていたただくことができたと思います。

(村上秀人)

◆ 八月三十一日（土） 福祉部が「チビッ

◆ 夏休み最後の日曜日、大曲養護学校の「子ども尊みこしコンテスト」に福祉科二年男子生徒六名がみこし担ぎとして参加しました。



《施設実習を終えて》

二年生の時、施設実習では、技術・コミュニケーション能力だけを学ぶものだと思っていました。しかし、どれだけコミュニケーションをうまく取れても、利用者さん一人一人を理解できていなければ介助できないことが分かりました。実習は、介護技術だけではなく社会人としての勉強もさせていたただくことができたと思います。

◆ 福祉科二年生は、夏休みに五日間の集中実習を行いました。今回は介護の仕事を見て理解することが目標でしたが、十月からは専門的・実践的な施設実習が始まっています。各実習施設ごとに報告・反省会を行いました。人の前で話すことの難しさと、正しく確実に伝えることの大切さを実感しました。



第二十三回
秋田県高等学校産業教育フェア
キヤツチフレーズ部門採用

秋田県高等学校産業教育フェア
キヤツチフレーズ部門採用
藤島佳奈子さん

輝かせ！
秋田の技術
我らの力で

子フェスティバル」へ参加しました。中央公園からトレーニングセンターへ会場が変更になりましたが、昨年以上の賑わいでした。毎年大盛況の「コ一スター作り」は材料がなくなるほどの人気でした。今年も、ちびっ子たちのうれしそうな笑顔を見る事ができます。

◆ 十月二十二日（火）から二十五日（金）まで、三泊四日の修学旅行に出発します。今年は、大阪・京都・奈良の関西方面です。初めて飛行機に乗る人もいて、早くから準備をしているようです。お天気が良いことを願っています。

一年生も頑張りました！



施設夏休み
ボランティア活動

